

14-15 制度の改善



20-21 会計報告



16-17 持続可能な水産物を促進



22-23 運営管理と参画



18-19 MSCへの資金援助



24-27 サプライチェーンにおけるパートナー

はじめに



Rupert Howes

MSCのビジョンとは、生命に溢れる世界の海、そして現在と将来の世代にわたって水産物の供給が守られることです。このビジョンを実現するためには、世界中の漁師、水産業界、消費者、政府、NGOの協力と効果的なパートナーシップが欠かせません。

MSCの認証とエコラベル制度は、こうしたすべての関係者との連携によって、環境面でよく管理された持続可能な漁業が、市場において確実に認められ、恩恵が受けられるようになることが前提になっています。世界の海洋資源がますます窮迫しつつある中で、消費者が水産物を購入する際に、最良の選択ができるよう、MSCは努力しています。それによって、適切なインセンティブと市場環境が生まれ、世界中でより多くの漁業が、環境に配慮した持続可能な漁業のための厳格で科学的なMSCの基準を満たそうと努力するようになり、そうなることでまた、地域社会、環境、そして消費者にも利益と恩恵がもたらされるのです。

この1年間で実に多くの進展がありました。自らの持続可能性を証明するため、新たに第三者による審査を受ける漁業は最多となり、MSC認証を取得した持続可能な水産物への需要は目覚しく増加しました。MSC認証に対する市場での需要と、認証を取得しようという意欲は、かつてないほど強くなっています。

また、この1年の間には、この第三者認証審査プロセスの全体的な質と一貫性を向上させる重要な改善策も実施されました。今後はより迅速で低コストの審査が実現できることでしょう。認証機関の審査実施対応能力は1年で倍増しましたし、MSCの運営・管理と漁業や水産業界への支援の向上に向け、ベルリン、ハーグ、エディンバラに新たに事務所を開設しました。

2007/08年度は目覚ましい進展のあった1年となりました。私どもの思いを分かち合い、資金援助やご支援を惜しまず続けてくださっている世界中の皆様は、深く感謝の意を表します。MSCチーム、役員会、ステークホルダー協議会、技術諮問委員会が、この報告書に記された事柄を達成することができたのは、ひとえに皆様のご支援のおかげです。ありがとうございました。

ルパート・ハウズ
最高責任者

今年のハイライト



MSCの使命は、エコラベルと漁業認証制度によって、世界の海洋環境の向上に貢献することです。持続可能な漁業を認定し報奨することにより、水産物購入に際しての選択に影響をもたらす、パートナーとともに水産物市場の基盤を持続可能なものへと変えていくことです。

2007/08年度には、これらの目標達成に向けた目覚ましい進展がありました。この報告書に記された成果や発展によって、さらなる進展に向けた堅固な基盤が築かれたのです。

共通の目的を有する多くのパートナーの参画、リーダーシップ、献身なくして、この達成は成しえなかったことでしょう。どのような組織、団体、計画も、単独で乱獲問題に取り組むことはできません。しかし一丸となることで、いかに困難であろうとも、漁業における真の持続的な変革や改善へとつながる大きな前進を遂げることができるのです。そうすることによって、現在、そして将来の世代にわたって水産物の供給を守るとともに、海洋生態系の多様性と生産性を確実に維持することが可能となるのです。2007年4月から2008年3月までの大きな出来事を以下に示します。

- 持続可能としてMSCの認証を取得した漁業数は26に増え、その中には初のマグロ漁業と小エビ漁業が含まれています。
- 2つの大きな漁業である、アラスカのサケとニュージーランドのホキ漁業が、再認証されました。

- 全世界で過去最多の53漁業がMSC認証の本審査に入り、審査中漁業の総数は年度末時点で69となりました。
- 18の新しい魚種を扱う漁業が、認証取得または審査中です。北海のプレイス、バルト海のspratt、太平洋のヘイク、ミスハマグリ、ハドック、セイヨウイタヤガイ、そして北東北極海のタラなどです。
- 世界で販売されているMSCラベル製品の数が、608から1,421へと倍以上に増加し、2億5千万品目を超える販売がありました。
- MSCラベル製品を購入できる国がさらに9ヶ国増え、普及国は合計36ヶ国となりました。
- MSCラベル製品の世界的市場は100%近く成長し、10億米ドルに迫る小売売上高に達しました。
- MSC・CoC認証を申請、取得した企業の数が、この1年で40%近く増加し、合計でほぼ600社となりました。これらの企業は、審査済みの、追跡可能なサプライチェーン内で、MSC認証製品を取り扱うことができます。

関係者のことば

「持続可能な方法で獲られ、MSCが推進しているような取り組みによる水産物を望む消費者が増えてきているのは明らかです」

スコットランド初の首相アレックス・サモンド、スコットランドの水産業をより持続可能なものとすべく、40万ドルの寄付を発表



1: 2008年度Seafood Prix d'Eliteを受賞——MSC認証を取得したこのアラスカのベニザケは、手作業による塩干し後に伝統的な冷燻製を施し、風味豊かなマリネにしたものです。

水産物の供給を守る



水産資源への圧力の増大

世界の漁業は大変な圧迫を受けています。増加し続ける世界人口への食糧供給を考慮する以前に、水産物の需要が増え続け、天然の漁業のみによって得られる供給量では既に間に合わなくなっているのです。好ましくない方向に進んでいることは指標にも表れており、1974年にFAOが天然漁業資源のモニタリングを開始して以来、乱獲された資源や枯渇した資源が増加している一方で、適切な量の漁獲が行われている資源は、減少し続けています*。世界的規模においては、これまでどおりのやり方は、もはや通用しないのです。

世界にはしっかりと持続可能な漁業管理の例もあるとはいえ、すべての漁業が同じ基準で管理されているわけではありません。貴重で再生可能な水産資源のすべてを持続可能な形で管理するためには、適切な政策とその実施、違法漁業の根絶、そしてMSC制度のように、市場を基盤とした信用性の高いエコラベル制度の幅広い活用が求められます。



漁業 フォーカス

アラスカのサケ



2000年9月に初めて認証を取得し、米国初のMSC認証漁業となったアラスカのサケ漁業が、5年に及ぶ審査を経た後、2007年11月に再認証されました。アラスカのサケ漁業は、アラスカのほぼすべての沿岸で操業する多数の小型漁船から成る大規模漁業で、南東アラスカのケチカンからユーコン川沿いのエモナックその他の村落に至る全域で操業しており、ブリストル湾のサケ漁業が最大規模のものです。MSC認証を取得したアラスカのサケは人気が高く、他のMSC認証魚種よりもラベル製品が多く(500超)、世界20ヶ国で販売されています。



持続可能な水産物市場を目指す

MSCの制度は、水産物市場を持続可能なものにするために必要な変革をもたらす仕組みを提供するものです。独立した、科学に基づく、第三者漁業認証とエコラベル制度が、責任あるよく管理された漁業を認め、報奨する手段を提供します。MSCのエコラベルによって、消費者を含む全てのサプライチェーンにわたって、誰もが水産物を購入する際に、環境に最良の選択を行えるようになります。漁業、加工業者、卸売業者、小売業者、レストラン、その他のパートナーと協力しながら、MSCは持続可能な水産物の市場拡大に寄与しています。

なぜ重要なのか：

- 海洋環境：多様性に富んだ豊かな生態系には、健全なレベルの天然魚資源が不可欠です。
- 食糧の確保は絶えることのない難しい問題です。途上国では26億人が、動物性蛋白質の摂取量の20%以上、国によっては50%以上を、水産物に依存しています。
- 生計：2億人もの人々が水産物で生計を立てています。
- 取引：漁獲物は最も多く取引されている食品で（コーヒー、茶、米、砂糖を合わせた純輸出量を超えます）、そのうち約50%は途上国からのものです。

世界漁業・養殖業白書2006年



商業 フォーカス

Target



世界第7位の規模で、売上高全米第5位の小売企業Targetが、持続可能な水産物の提供に熱心に取り組んでいます。人気の自社ブランドである、Archer FarmsとMarket Pantryに、一連のMSC認証製品を加え、計15のMSCエコラベル付き製品を、全米で1,600を超えるTarget店舗で取り扱っています。これらMSCラベル付き製品には、メロ、アラスカのオヒョウ、アラスカのスケソウダラ、アラスカのサケなどがあります。



関係者のことば

「Common Visionは、持続可能性の達成のための重要な要素として、6つの点を掲げています——その1つは、環境的に責任ある水産物を購入することです。MSCは、漁業認証制度、トレーサビリティ、そしてFAOとISEALの国際的なガイドラインに合致した信頼性の高い水産物エコラベル制度を提供しています。私たちは、MSCのプロセスは重要な取り組みであると考えており、持続可能な水産物に係る企業の方針の一環として、MSC認証製品の購入を促進しています。Conservation Allianceのパートナーは、MSCのプロセスに携わり、持続可能性への取り組みに向け、すべての漁業と協力していきます」

Conservation Alliance for Seafood Solutions (2008年5月)
(Blue Ocean Institute, Canadian Parks and Wilderness Society, David Suzuki Foundation, Ecology Action Centre, Environmental Defense Fund, FishChoice, FishWise, Living Oceans Society, Monterey Bay Aquarium, Natural Resources Defense Council, New England Aquarium, Ocean Conservancy, Sierra Club British Columbia, World Wildlife Fund—US)

先導する漁業

漁業 フォーカス

ニュージーランド ホキ

過去12ヶ月間に再認証された漁業として、ニュージーランドのホキ漁業があります。この白身魚の市場は世界中にありますが、その大半は米国、EU、日本、オーストラリアに輸出されます。認証プロセスの一環として、海鳥に対するリスクの低減や、海底生息域と生態系の保護区域設定など、いくつかの条件が付与されましたが、この漁業はこれらの条件を満たすことに同意しました。嬉しいことに、すでに改善がかなり進んでいることから、これまで通り、よく管理された持続可能な水産物として、これからもニュージーランドのホキを選んでいただけます。



供給を促進

MSCとそのパートナーは、普及活動を通してMSCの認証取得を漁業に働きかけてきました。参加する漁業は劇的に増えてきています。53の漁業が、正式に本審査に入り、MSCの認証に関与する漁業による総漁獲量は、さらに2百万トンの増加となりました。

持続可能な漁業で獲られた水産物への需要が増え続けていることから、MSC審査にまだ入っていないであろう漁業の間でも、審査プロセスへ進むようとする意欲が高まりつつあります。長期的には、認証取得に向け必要となる変更や改善が達成され、認証されれば、市場へのMSC認証水産物の総供給量は増加します。既によく管理されている漁業は、高いレベルにあるその取り組みと持続可能性を、MSCプロセスによって示すことができます。世界中の市場に供給するMSC認証取得漁業は、自らの持続可能な管理を示す明確な方法を通して、業界に

進むべき道を提示しているのです。その先導的な役割は称賛に値します。

今年は4つの漁業が新たに本審査を完了し、認証取得に至りました。AAFAのビンナガマグロ（南・北太平洋）、NESFCのシーバス、オレゴンのアマエビです。さらに、初期のMSC認証取得漁業の2つであるアラスカのサケ漁業とニュージーランドのホキ漁業が、再認証されました。

しっかりと管理された漁業が、持続可能な水産物 マーケットへの変革の第一歩です



増大する市場の要求に応える

過去最多数の参加漁業がMSC認証審査に進んだことに加えて、審査対象となる魚種も拡大しています。過去12ヶ月間に、18の新たな魚種を対象とする漁業が審査されました。インドのマラバールイワシ漁業、アブラガレイ漁業、北海のブラウンシュリンプ漁業、ロス海のライギョダマシ漁業、シイラ漁業、ガンビアのヒラメ漁業、ボラ漁業、コーンウォールのマイワシ漁業などです。MSC認証水産物の市場は深い広がりを見せており、これら漁業の認証プロセスが完了すれば、多様化している市場の需要を満たすことにつながります。



パフォーマンス向上へのインセンティブ

多くの漁業は、MSC制度の本審査に正式に進む前に、そのシステムや操業に対する非公開の予備審査を受けます。予備審査により、MSC認証取得を妨げる問題があればそれを確認し、また問題が確認された場合は、達成への道筋を示すことができます。漁業クライアントと認証機関以外には非公開ですが、多くの漁業が予備審査で「失格」になる場合もあるでしょう。本審査に備えて、改善に努力する漁業もあります。ひとつはっきりしているのは、この予備審査の段階でかなりの環境的便益が得られるということです。MSCでは、来年度中にこうした環境的便益に関する調査を実施しようと考えています。

商業 フォーカス

Sainsbury's



長期にわたってMSCを支援しているSainsbury'sは、この1年でMSCラベル製品の売上倍増を目指し、みごとにそれを実現しました。Sainsbury'sは英国の小売業者としては最も多くのMSCラベル製品を扱っており、その取り組みは、MSC認証を受けた供給業者を優遇するほど徹底しています。供給業者にバイヤーがまず尋ねるのは、MSC認証を取得しているかどうかです。答えが「はい」なら、供給業者はそれ以上何も訊かれません。Sainsbury'sが支援を継続し、今年再びMSCラベル製品の売上倍増を目指すことをたいへん喜んでおります。



関係者のことば

「2007年9月にMSC認証を取得して以来、私たちの漁獲物への関心が高まっています。全米とヨーロッパ各地のバイヤーから、私たちの製品についての問い合わせがあります。人々は持続可能な漁業で獲られた水産物を求めており、MSCラベル製品には大きな需要があるのです」

Natalie Webster氏、American Albacore Fishing AssociationのAdministrator

長期的利益



漁業フォーカス

アラスカのスケソウダラ

持続可能性の重要性に対する消費者意識の高まりと、高名なシェフが代替魚種として勧めたこともあって、MSCの認証を取得したスケソウダラは急激に需要を伸ばしました。市場によっては対前年比200%近くの増加となっています。

Birds, Eye/Iglo, Young's, Trident, Frosta, Royal Greenland, Aquamar, Domstein, Deutsche See, Trans Ocean, Migros, Lidl and Aldiなど、世界中の主要ブランドはすべて、MSC認証を取得したアラスカのスケソウダラを受け入れる市場を確保しており、さらに多くの市場でその名前が急速に知られるようになってきています。



信頼、信用と市場への参入

消費者が食品の供給元への関心を強めるにつれ、主要マーケットの多くで水産物の需要がその性質を変えつつあります。この影響により、持続可能な水産物の市場は大きく拡大しました。しかし持続可能な漁業による水産物を求めるバイヤーや取引業者には、購入する製品の入手元の信用性について確認が必要です。国際的な科学的根拠に基づく最良の方法に照らした第三者による審査をその基礎とするMSC認証は、独自の信頼性の高い方法を提供しています。

MSC認証製品を販売するための、安全で追跡可能なサプライチェーンにより、多様な水産物の新たな市場への参入が可能になり、理にかなったビジネスが実現します。MSC認証を取得した企業は、増え続ける持続可能なMSC認証水産物への需要を満たすという点で優位に立っており、安定したビジネスが約束されていると言えるでしょう。

信頼、信用と市場への参入



私たちのパートナーたちは、MSC認証を取得した結果、得られた恩恵として、次のようなことを挙げています。

漁業：新たな市場への参入；新規の安定した供給契約；場合によって価格の割増；独立の第三者による優れた管理の確証；信頼性のある国際的に認知された持続可能性の提示；対外関係と評判の向上；財政的安定；将来への安心

サプライチェーン：セールスポイントの差別化；優先的供給業者としての扱い；トレーサビリティの向上；新規の契約；長期にわたるより安全で安定した供給

小売およびブランド：水産物供給業者の信頼性・追跡可能性・信用性の証し；顧客や消費者に対する企業の社会的責任の効果的な伝達；

ブランドイメージや企業イメージの向上；販売促進の機会；新製品の開発；市場での需要と供給の増加；自社の持続可能性に係る方針への顧客の参画に向けての明確で簡潔な方法

外食産業およびレストラン：調達履歴の保証；広報の機会；固定客の増加と従業員の意識向上；評判の高まり；供給元が持続可能であることの証し；責任あるサプライチェーンに対する支援

関係者のことば

「もしMSC認証を失うことになれば、市場は閉ざされ、それは必ずや南アフリカのヘイクの価格に悪影響を及ぼすでしょう。持続可能性は国際的に大きな関心を集めるようになっていきます。私たちにはそれがあり、失うわけにはいかないのです」

George Bezuidenhout氏。ヘイク漁獲枠の2大保持者の1つ、Sea Harvestの最高経営責任者

商業 フォーカス

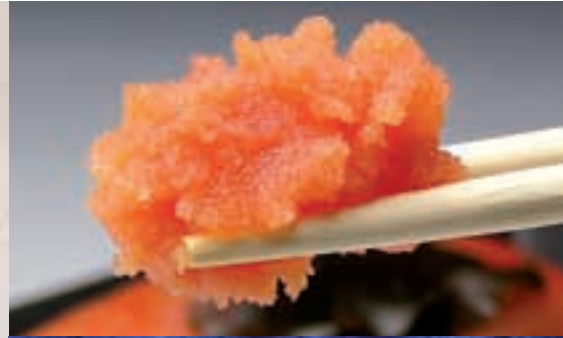
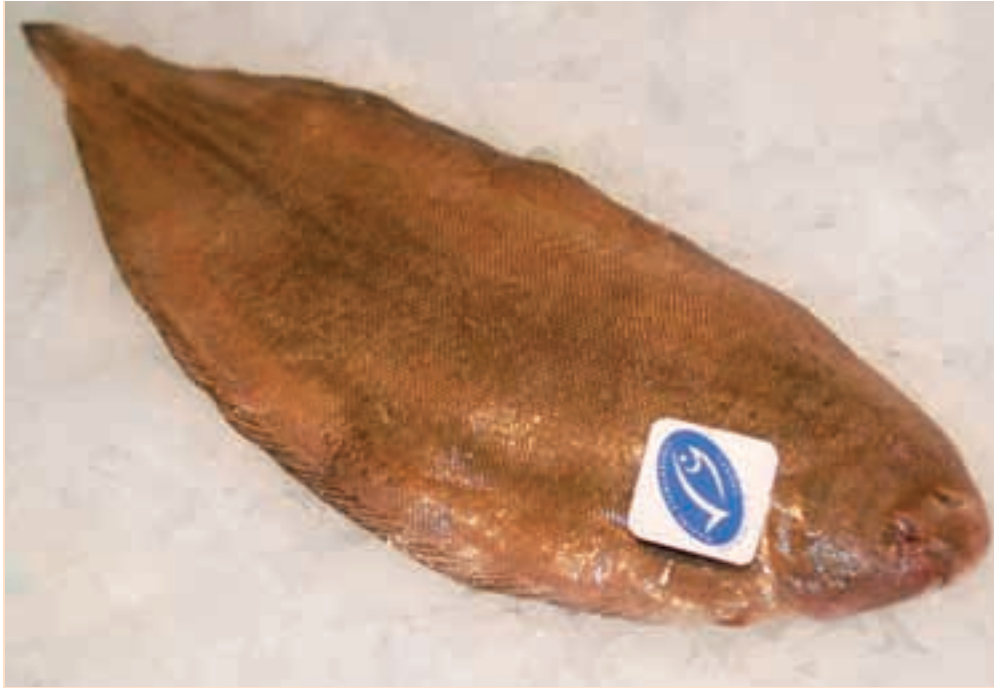
日本



日本におけるMSCラベル製品の増加には、特に2つの組織の支援が大きく貢献しました。イオン株式会社と日本生活協同組合連合会です。イオン株式会社は、2006年にMSC認証製品の販売を開始し、また、日本生活協同組合連合会は、日本のMSC製品数を一夜にして倍増させました。日本におけるMSC製品数は、年度末には100製品近くまで増加しました。日本の1人あたりの水産物消費量の多さは世界有数であり、世界で1000番目のMSCラベル製品がイオン株式会社により販売されることになったのも至当と言えるでしょう。



商業的支援



2007/08年度、MSCは世界の水産物マーケットに対し明らかな影響をもたらしました。信用性の高い、国際的に認められた第三者認証と、購入する水産物の持続可能性に対する保証への主要な水産物バイヤーの要求は増しており、MSC認証水産物への需要はこの1年で大きく伸びました。購入する水産物の環境的根拠に対する消費者の関心はますます高まっていることから、この傾向はさらに強まってきています。

MSCエコラベルを付き製品数が500に達するまで7年を要し、2007/08年度の初めには608のMSCラベル製品が販売されていました。そして、2007年12月には1000番目の製品という節目を迎え、年度末には、MSCラベル付き製品の総数1,421にまで増えました。この1年で2倍以上となったMSCラベル製品数の増加は、水産業界の持続可能性に対する、心強い商業的支援の証です。年度末には、MSCラベル水産物の小売売上高は10億米ドル近くに達しました。

新規のラベル付き製品が急増した結果、年間のMSCラベル製品の販売は2億5千万品目を超えました。製品は、新たにアルゼンチン、ロシア、ナミビアなどを加え、36ヶ国で入手可能となっています。MSCラベル製品のマーケットシェアが伸び続けている主要な市場としては、小売売上額が2億7千万米ドルを超えるドイツ；小売売上額が2億2千万米ドルを超える米国；小売売上高が約1億4千万米ドルの英国などが挙げられます。うち、米国およびドイツの市場ではともに、12ヶ月で100%を超えるMSCラベル製品の売上増を記録しました。

関係者のことば

「MSC認証では、環境に配慮する漁業が明確に識別されます。だからこそ、Casinoは2007年以来一貫してMSC認証製品を販売しているのです。これらの製品は、『責任ある小売企業』という我々の方針と合致するものです。CasinoはMSC認証製品の供給業者を積極的に求めており、現在もサバ、ヒラメ、アラスカのサケ、ホキ、タラ、南アフリカのヘイク、アラスカのスケソウダラなど、複数の魚種を取り扱っています。Casino Groupでは、トレーサビリティを確立し消費者への情報伝達を強化するため、個々の製品にMSCエコラベルを使用することを選びました」

Marc Barelier氏。Directeur Filiere, Produits de la mer, Groupe Casino

MSCラベル製品が100を超える国	製品数	対前年比
英国	261	109%
米国	217	101%
ドイツ	189	182%
オランダ	138	2,200%
日本	100	614%

商業的フォーカス

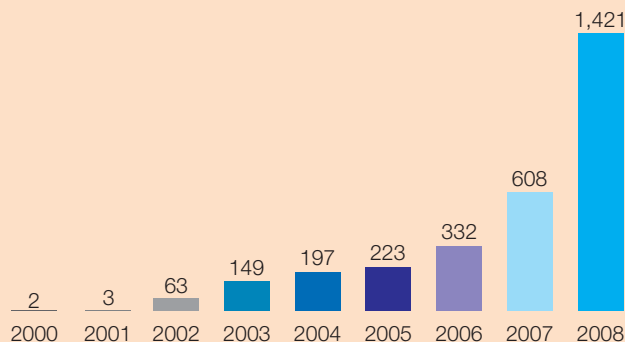
オランダ



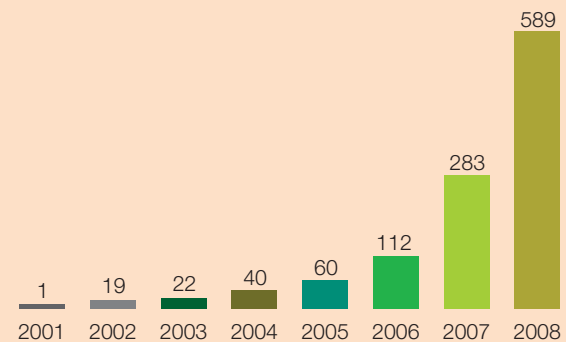
3つの画期的な取り組みによって、オランダは真に持続可能性を追求することとなりました。2007年12月、オランダの小売業界は、2011年以降、国内のすべての食品小売チェーンで販売される天然水産物をすべてMSC認証漁業によるものとする旨の統一の方針を発表しました。発表後すぐに、鮮魚販売事業組合では最大のVisgildeに所属する46店舗が認証を取得し、次いで、Dutch Association of Fishmongersが、傘下の750業者にMSC認証水産物の販売を促すプロジェクトを開始しました。



3月31日現在のMSCラベル製品数



3月31日現在のMSC・CoC認証取得企業数

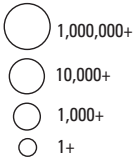


関連漁業

アラスカからニュージーランドまで、持続可能性の証しを求める漁業、企業、消費者が増えるにつれて、MSCが人々の話題にのぼっています。

記号

漁獲高(トン)



MSC認証状況



MSC製品が販売されている国



● 2007/08年度以前の認証取得漁業

国	漁業
1	アラスカのサケ漁業 米国
2	オーストラリアのコオリカマス漁業 オーストラリア
3	ペーリング海とアリューシャン列島のスケソウダラ漁業 米国
4	ペーリング海とアリューシャン列島のマダラ漁業 米国
5	ペーリ湾のザルガイ漁業 英国
6	アラスカ湾のスケソウダラ漁業 米国
7	ヘイスティングスのシタピラム漁業 英国
8	ヘイスティングスのタイセイヨウミン、サバ(遠洋)漁業 英国
9	イェルマレン湖のバイクパーチフィッシュクラブ スウェーデン
10	イェルマレン湖のバイクパーチ刺網漁業 スウェーデン
11	トリドン湖のヨーロッパカザエビ漁業 スコットランド
12	メキシコ、パナマ、カリフォルニアのイセエビ漁業 メキシコ
13	ニュージーランドのホキ漁業 ニュージーランド
14	太平洋のオヒョウ漁業 米国
15	パタゴニアホタテ貝漁業 アルゼンチン
16	PFA・北海のニシン漁業 オランダ
17	南アフリカのヘクトロール漁業 南アフリカ
18	サウスジョージアのマゼランアイナメ延縄漁業 フォークランド諸島
19	英国南西沖の手釣りサバ漁業 英国
20	テムス・ブラックウォーター川のニシン漁業 英国
21	米国北太平洋のギンダラ漁業 米国
22	西オーストラリアのイセエビ漁業 オーストラリア

● 2007/08年度中に認証取得

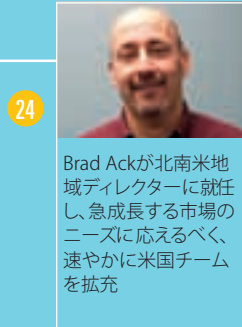
23	北太平洋のピンガマグロ漁業 米国
24	南太平洋のピンガマグロ漁業 米国
25	NESFC・ヨーロッパシラス漁業 英国
26	オレゴン州のピンガエビ漁業 米国

● 2007/08年度中に再認証取得

27	アラスカのサケ漁業 米国
28	ニュージーランドのホキ漁業 ニュージーランド

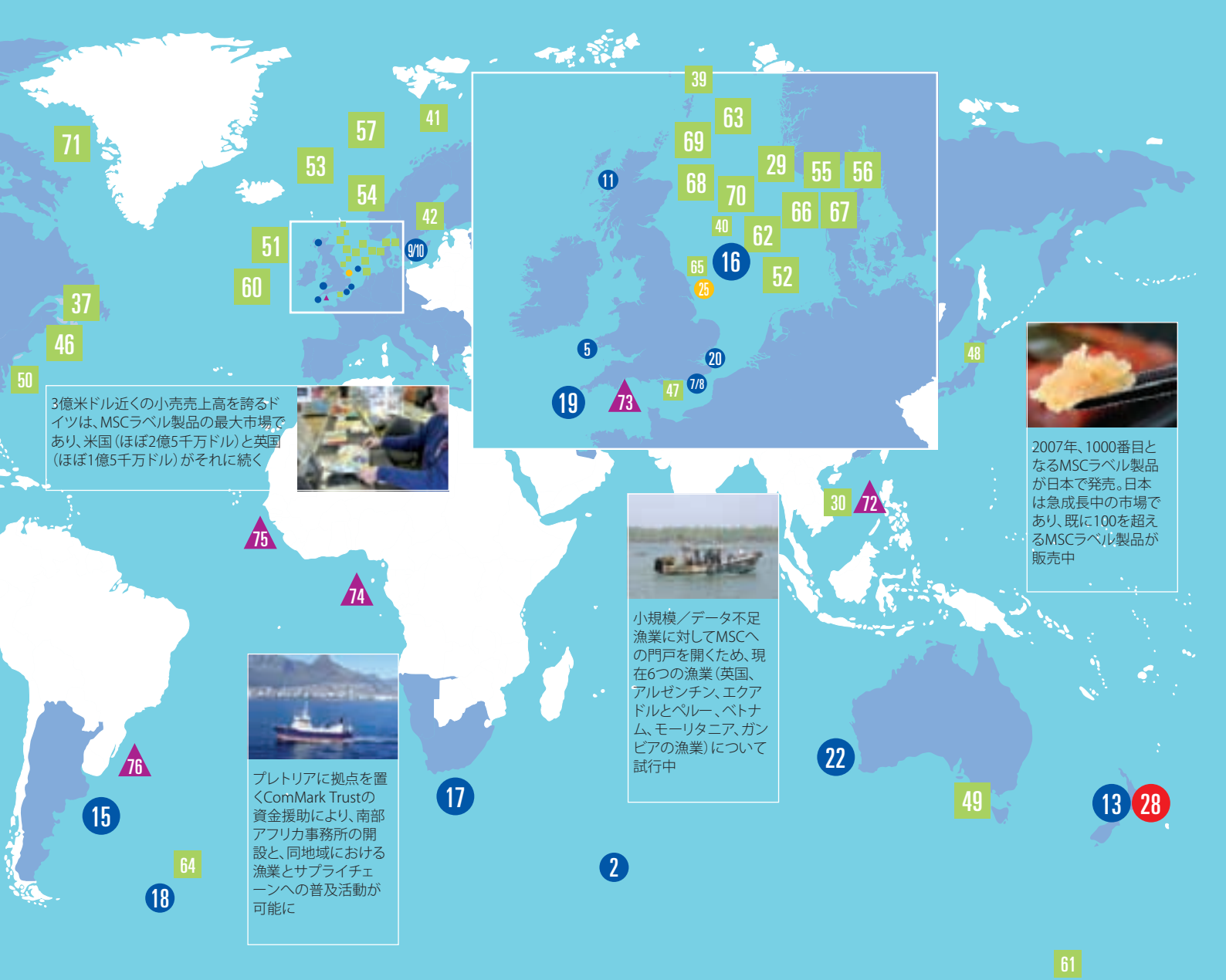
■ 2007/08年度の本審査中漁業

29	Astrid Fiske・北海のニシン漁業 スウェーデン
30	ベンチエのミスハマグリ漁業 ベトナム
31	ペーリング海とアリューシャン列島のカレイ・ヒラメ漁業 米国
32	ペーリング海とアリューシャン列島のマダラ漁業 米国
33	ブリティッシュコロンビアのカラフトマス/シロザケ漁業 カナダ
34	ブリティッシュコロンビアのベニザケ漁業 カナダ
35	カリフォルニアのキングサーモン漁業 米国
36	カリフォルニアのアメリカイチョウガニ漁業 米国
37	カナダ北部のホッコアカエビトロール漁業 カナダ
38	カナダ太平洋のオヒョウ漁業 カナダ
39	クライド湾のヨーロッパカザエビトロール/管漁業 英国
40	de Boer・北海のアレイス オッタートロール漁業 オランダ
41	Domstein Longliner Partners・北東極海のタラ/ハドック漁業 ノルウェー
42	ドイツ北海のセイス漁業 ドイツ
43	アラスカ湾のカレイ・ヒラメ漁業 米国
44	アラスカ湾のマダラ漁業 米国
45	カリフォルニア湾、メキシコのイワシ漁業 米国
46	セントローレンス湾北部のホッコアカエビ漁業 カナダ
47	ヘイスティングスのシタピラム トロール/刺網漁業 英国
48	京都府機地区刺網漁業連合会・ズワイガニ/アカガレイ漁業 日本
49	湖とクーロンの漁業 オーストラリア
50	メリーランドのシマスズギ漁業 米国
51	北東大西洋のサバ(遠洋)トロール/まき網/手釣り漁業 ノルウェー
52	北海のアラウシユリア漁業 オランダ
53	ノルウェー北東極海のセイス漁業 ノルウェー



Brad Ackが北南米地域ディレクターに就任し、急成長する市場のニーズに応えるべく、速やかに米国チームを拡充

54	ノルウェー北海のセイス漁業 ノルウェー
55	北海とスカゲラック/カデガットのニシン漁業 ノルウェー
56	ノルウェー北海とスカゲラック湾のタイセイヨウニシン漁業 ノルウェー
57	ノルウェーの春産卵ニシン漁業 ノルウェー
58	オレゴンのアメリカイチョウガニ漁業 米国
59	パシフィックヘイク中層トロール漁業 米国
60	PFA・北東極海のタイセイヨウサバ(遠洋)トロール漁業 オランダ
61	ロス海のライギョダマシ延縄漁業 英国



3億米ドル近くの小売売上高を誇るドイツは、MSCラベル製品の最大市場であり、米国（ほぼ2億5千万ドル）と英国（ほぼ1億5千万ドル）がそれに続く



2007年、1000番目となるMSCラベル製品が日本で発売。日本は急成長中の市場であり、既に100を超えるMSCラベル製品が販売中



プレトリアに拠点を置くComMark Trustの資金援助により、南部アフリカ事務所開設と、同地域における漁業とサプライチェーンへの普及活動が可能に



小規模／データ不足漁業に対してMSCへの門戸を開くため、現在6つの漁業（英国、アルゼンチン、エクアドルとペルー、ベトナム、モーリタニア、ガンビアの漁業）について試行中

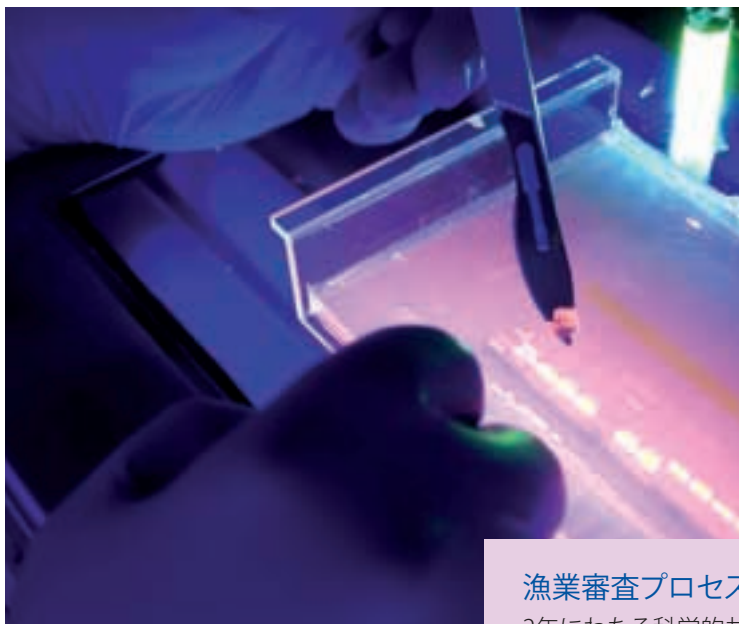
62	Scottish Pelagic Sustainability Group・北海のニシン漁業	英国
63	Scottish Pelagic Sustainability Group・北東大西洋西部のサバ漁業	英国
64	サウスジョージアのユオリカマス遠洋トロール漁業	フォークランド諸島
65	南北海のヨーロッパアカザエビ漁業	英国
66	SPPO・北海とスカゲラック/カテガットのニシン漁業	スウェーデン
67	SPPO・西バルト海のズブラッド漁業	スウェーデン
68	Stornowayのヨーロッパアカザエビトロール漁	英国
69	SWFPA・北海のハドック漁業	英国

70	SWFPA・北海のヨーロッパアカザエビ漁業	英国
71	西グリーンランドのホッコウアカエビ漁業	デンマーク

▲本報告書印刷時のGASSDD試行審査中漁業

72	ベンチェのミスハマグリ漁業	ベトナム
73	ユーンウォールのマイウジ漁業	英国
74	ハンタルギン国立公園のボラ漁業	モーリタニア
75	沿岸部とガンビア川のヒラメ漁業	ガンビア
76	サンボロンボン湾のボラ漁業	アルゼンチン
77	シイラ漁業	エクアドルとペルー

制度の改善



漁業審査プロセスの改善

2年にわたる科学的共同作業と協議が結実し、2007/08年度、MSCは新たな漁業審査方法を発表する準備が整いました。

新たな審査方法の目的は、認証を受けるために満たさねばならない環境基準を変えることなく、審査プロセスを簡略化することです。個々の漁業のパフォーマンスを審査する基準が上下するようなことのないように、特に配慮されています。

漁業審査方法は、独立した認証機関、審査の専門家、その他の関係者と協力して作られ、検証されました。検証によって、新たなアプローチは確固たるものであることが示され、より複雑であった以前の審査方法と同等の結果が得られました。この新たなアプローチによって、審査に進むことを望む漁業は、審査の開始前に、一貫性を以って、MSC規格を満たすためには何が求められるのかがわかるはずで、すべての審査と認証の出発点として、同一の既定審査

ツリーが用いられます。MSC規格をいかに正確に解釈すべきかを認証機関に明示する包括的な指針内容が、この新たなアプローチを支えています。これにより、認証取得を求めるすべての漁業が、確実に一貫した扱いを受けられるようになります。

この新たな審査方法によって、世界で最も信用され、信頼できる水産物認証制度の審査プロセスが、強化され、かつ短縮されるものと信じております。

すべての漁業にMSC制度へのアクセスを保証

世界で取引される水産物のおよそ半分が途上国からのもので、その多くは小規模/データ不足漁業によるものであることから、MSCの認証制度とその便益が、いかなる規模や地域の漁業にも適用できるよう、「小規模およびデータ不足漁業の審査のためのガイドライン」(GASSDD)を新たに設けました。

漁業 フォーカス

ベンチエのミスハマグリ 🔍

この漁業は東南アジアで初めて認証を申請した漁業です。並行して、MSCの小規模/データ不足漁業審査のための試行審査方法を用いた審査も受けています。手作業で収穫されたミスハマグリは、国内の市場に売られるほか、ヨーロッパ、日本、中国、台湾へ輸出されます。

Ben Tre Department of FisheriesのVice Director, Tran Thi Thu Nga氏談「MSC認証によって、我々のミスハマグリは市場を広げ、水産資源や生息域、環境保護に対する人々の知識も広がることになるでしょう」。

最良をさらに良くするために



これまで、MSC審査方法で要求されるデータが障壁となって、小規模／データ不足漁業の参加を妨げるケースもあったと思われます。MSCのスタッフは、世界中のパートナーとともに、新たな審査ガイドラインの作成を進めてきました。それにより、MSCの審査プロセスの確実性を保つ、リスク審査や定性的／準定量的方法を用いた漁業の審査が可能となります。今年、この審査方法の最終的な試行が、世界の6つの漁業で始まりました。

サプライチェーン全体のトレーサビリティを改善

MSC制度の主たる特長と利点は、MSCラベルのついた製品が、しっかりと管理された持続可能な認証取得漁業まで追跡可能であることです。これが、バイヤー、そして多くの消費者から信用と信頼を得ている理由です。

MSCが関係するサプライチェーンの統合性に対し、すべての関係者からさらに強い信頼を獲得するために、2007年の2月に「サプライチェーンにおけるトレーサビリティと保証プロジェクト」を開始しました。制度運営上の改善事項とともに、さらなる検査事項が確認され、取り込まれています。

このプロジェクトの目的は、サプライチェーンにおける確実性を、例えばDNA鑑定、認証機関による抜き取り検査、予告なしの審査などの実施によって、高いレベルへ引き上げることです。さらに、MSCのプロセスと制度の改善も行われており、あらゆる業種と規模の企業に開かれた、より優れたシステムが確保されるようになっています。

商業 フォーカス

Whole Foods Market



世界最大の有機・自然食スーパー、Whole Foodsは、北米での持続可能な漁業のためのMSC制度推進に重要な役割を果たしてきました。この12ヶ月間、取り扱うMSCラベル製品は増え続け、生鮮水産物売場では今や7種のMSC認証魚種が販売されています。アラスカのサケ、ニュージーランドのホキ、太平洋のオヒョウ、米国北太平洋のギンダラ、ベーリング海とアリューシャン列島のマダラ、パタゴニアホタテ貝、サウスジョージアのマゼランアイナメです。また、今では20を超えるMSCラベル付き「Whole Catch」製品を扱っています。



持続可能な水産物を促進

SAATCHI & SAATCHI

買物客をMSCラベル製品の買い手に

漁業 フォーカス

オレゴンのピンクエビ



オレゴンのピンクエビは2007年11月にMSC認証を取得しました。エビ漁業としては初の快挙です。これで他のエビ漁業への認証取得の道が開けました。この認証は関係者にとっても朗報であり、漁業者にとっては、既存市場の維持と新しい市場の開拓につながることを期待されています。オレゴンのピンクエビは、ベイ・シュリンプ、サラダ・シュリンプとも呼ばれる太平洋の冷たい海で獲れる小さなエビです。



Saatchi & Saatchi XがMSCの認知度アップに貢献

MSCの広報チームならびに地域事務所は、MSC認証制度とその環境へのメリットについての認識を高めるため、世界規模で活動しています。今年、世界有数の市場調査組織であるSaatchi & Saatchi Xによる無償協力によって、飛躍を遂げることができました。

Saatchi & Saatchi XとMSCの最初の協力活動は、最新の調査方法を用いて、アメリカ、英国、ドイツ、日本など世界主要市場の消費者の持続可能性に対する認識の動向を調べ、水産物やエコラベル付き商品、その他の「グリーン商品」の購買パターンを明確にするというものでした。すべての調査完了後、小売企業をはじめとする関係者との協力を促進する斬新な方法を構築することで、MSCについての認知度をさらに向上させ、持続可能な漁業で獲られた水産物への消費者の選択意識を高めていきます。MSCはSaatchi & Saatchi Xの支援に心から感謝しております。



MSC紹介ビデオ

複雑な環境問題に対し、持続可能で測定可能な解決策に取り組んだ功績により、2006/2007年度には、MSCの最高責任者ルパート・ハウズにSkoll Award for Social Entrepreneurshipが授与されました。今年、そのScoll Foundationからの資金提供によって、Fish for today, fish for tomorrow というタイトルのMSCの活動紹介ビデオを制作することができました。

水産の専門家や漁業者、小売業者等のインタビューを交えながら、MSCの取り組みや、任務達成に向けての活動が紹介されています。また、視聴者に対し、「あなたにもやれることがある」という明快なメッセージを発信しています。このビデオはMSCのウェブサイトwww.msc.org/about-usからもご覧いただけます。

MSCのリーダーシップ強化に向けたパートナーシップ



関係者のことば

MSCラベルは、持続可能な漁業による水産物であるということが一目で分かる素晴らしい方法です。

買物客の80%は、店に並んだ商品を見てから何をかうかを決めます。私たちの仕事は、買物客への店舗における情報発信を通じてMSCラベルが持つ意味を十分に理解してもらい、製品の選択へつなげていくことです。

Simon Hathaway, CEO,
Saatchi & Saatchi X



外食業界との 良好なパートナーシップ

MSCの先駆的な普及活動であるフィッシュ&キッズは大成功を収めました。給食サービス関係者や英国の地区教育局との連携による3年にわたるプロジェクトで、学校の食堂や教室に持続可能な水産物を提供できるようになりました。この活動展開への財政的な支援は2007/08年度をもって終了しましたが、素晴らしい成果を上げることができました。MSC認証製品を扱う給食サービス企業数は、2社から12社へ、提供されるMSCラベル付き製品も5種から140種に増えました。当初CoC認証を取得してMSCラベルを昼食で提示する学校はありませんでしたが、今では2,200校にまで増えました。

それに伴い、学校でMSCラベルの水産物を選ぶことができる児童数も70万人へと増え、各家庭に配布されるMSCラベルが表示されたメニューは100万部を超えています。フィッシュ&キッズは、学校での持続可能な水産物の消費を増やすだけでなく、持続可能性に関する問題と解決に対する意識の向上に貢献していることから、この活動モデルの実施に対する関心が世界各国から寄せられています。現在、スコットランドとウェールズ、そして海外でもフィッシュ&キッズを展開する計画が進んでいます。

商業 フォーカス

ドイツ



ドイツでは、MSCラベル製品の市場がかなり以前より確立されており、小売売上高が2.7億ドル超と、世界一を誇っています。長年にわたりMSCを支持してくれているドイツの大手小売企業MetroとLidlは、供給業者にMSC認証の取得を求めており、2007/08年度には、MSCラベル製品の数を増やすとともに、ドイツ以外の市場でもMSCラベル製品の販売を始めました。ドイツで販売されたMSC製品の数はこの1年で300%以上増加し、先導的なGottfried Friedrichsでは、総売上高の37%をMSCラベル付きサケ製品が占めるまでになりました。



MSCへの資金援助

2007年4月以降の資金援助

MSCは、近年のご支援に対し、以下の組織に感謝いたします。

英国の信託基金および財団

Cecil Pilkington Charitable Trust
Cohen Foundation (John S Cohen)
Dulverton Trust
Ernest Kleinwort Charitable Trust
Esmée Fairbairn Foundation
Garfield Weston Foundation
Golden Bottle Trust
Hugh Fraser Foundation
J G Hogg Charitable Trust
John Ellerman Foundation
Leventis Foundation
Marsh Christian Trust
Mary Webb Trust
Oakdale Trust
Project AWARE Foundation
Rainford Trust
Rowan Charitable Trust
Rufford Maurice Laing Foundation
Sir John Fisher Foundation
Swire Charitable Trust
Waterloo Foundation

その他のヨーロッパの財団

DOEN Foundation (オランダ)
Hivos-Novib Biodiversity Fund (オランダ)

米国の財団

Bickart Family Fund
Commonweal
David and Lucile Packard Foundation
Freed Foundation
Golden Rule Foundation
Kongsgaard-Goldman Foundation
Marisla Foundation
Resources Legacy Fund
Robertson Foundation
Skoll Foundation
Tinker Foundation
Triad Foundation
Wallace Global Fund
Walton Family Foundation

公的機関

Defra (UK Dept for Environment, Food and Rural Affairs)
Sida (Swedish International Development Agency)

企業

Australian Ethical Investment
Fish Society
Green Rides
Honda Racing F1 Team
Man Group
Marks & Spencer
Microsoft Employee Giving
Royal Caribbean International
Seafish Industry Project Fund
Tesco
Unilever

その他のNGO

ComMark Trust (南アフリカ)
Global Ocean (英国)
North Sea Foundation (オランダ)
SSNC (スウェーデン)
WWF International
WWF Netherlands
WWF UK
WWF US

資金以外のサポート

3663
Pret A Manger
Saatchi & Saatchi X



関係者のことば

メイン州のロブスター漁は持続可能な漁業であり、その需要は常にあることでしょう。しかし、MSC認証を通じて、持続可能であるということを世界に伝えなければ、市場を失う可能性が高いと思われます。持続可能な漁業であることを広くアピールするためには、MSC認証を取得することが最良の方法です。

John Hathaway - Shucks Maine Lobsterのオーナーで、メイン州知事により設置された持続可能なロブスターに関する作業委員会会長。



寄付・助成金の増加

今年度は、多方面から寛大なるご支援を頂き、寄付・助成金も総額400万ポンドを超えました。

MSCでは、これを持続可能な水産業の実現に向けたMSCの活動への信頼の表明と受け止め、先見の明からご支援くださった多くの財団や企業、公的機関、そして個人の皆様方に感謝いたします。複数年に及ぶ助成金は特に貴重なものであり、2007年/08年度において、新たにRobertson Foundationより3年間に及ぶ助成金を頂くことになったことに深く感謝の意を表します。

また、継続的なご支援をいただいているその他の主要な支援者、特に

Esmée Fairbairn Foundation, the DOEN Foundation, the David and Lucile Packard Foundation, the Skoll Foundation, Walton Family Foundation)に深く感謝申し上げます。

アフリカでの新しい展望

現在、アフリカにはMSC認証の漁業が1つしかありません。しかし、プレトリアを拠点とするComMark Trustからの貴重な支援を得ることができたことで、状況は大きく変わるものと期待しています。アフリカ湾岸の4カ国—モザンビーク、ナミビア、タンザニア、そして南アフリカにMSCの活動を広げようという計画を共同で立ち上げたのです。

ケープタウンに事務所を開設し、漁業や流通関係者にMSCプログラムへの参加を促すスタッフを配置するための資金の提供を受けました。この資金援助により、多くのアフリカの漁業が、増えつつある持続可能な水産物の国際貿易に参入することが可能となるとともに、各漁業の管理システムの向上を促し、さらには、アフリカにおける食糧の安全保障につながるものと期待しています。

新たなる慈善活動の恩恵

慈善活動の調査研究において定評があるNew Philanthropy Capital (NPC) が2007年10月に発行した「グリーンな慈善活動：環境問題解決のための慈善活動」によると、英国トップ100の慈善団体による助成金のうち、環境問題への取り組みに対し支給されたのは、年間総額の2%未満であるとされています。他国においても、環境プログラムへの支援は小さい状況にあります。

NPCにより、重要な環境問題に取り組み、慈善団体の支援対象として重視されている5つの団体の1つとしてMSCが認められていることは喜ばしいことです。

MSCの価値と活動が、独立した調査によって認められたことは、非常に意義のあることです。また、Man Group plcより、この年次報告書作成のための寄付を頂き、目に見えぬ形で評価を頂くことができたことを大変嬉しく思っています。

会計報告 2007／08年度

監査人の海洋管理協議会役員会への報告

我々は、財務活動の連結財務諸表及び連結慈善事業貸借対照表からなる決算報告書の摘要の監査を行った。

これは、2005年の慈善団体会計報告実務勧告書に則り、慈善活動団体役員会のためのためにまとめられた会計報告である。

これは会計監査で報告しなければならない事柄を慈善活動団体役員会に報告するためにのみまとめられた報告書である。我々が行った監査や会計報告、到達した見解については、法の及ぶ最大限のかぎりにおいて、慈善団体及び慈善団体役員会に対してのみ責任を負うものである。

役員会と監査人のそれぞれの責任

役員会は、慈善団体会計報告実務勧告書に則り、2007／08年度の会計報告を作成する責任を負う。

我々の責任は、決算報告書の摘要が全決算報告書と海洋管理協議会の役員会年次報告書に一致するかどうかの見解を報告することである。

我々は更に、年次報告書の摘要に記載されるその他の情報を読み、明らかな誤りや決算報告書の摘要との矛盾が認められた場合には、報告書を作成する際にその内容を検証する。

見解の根拠

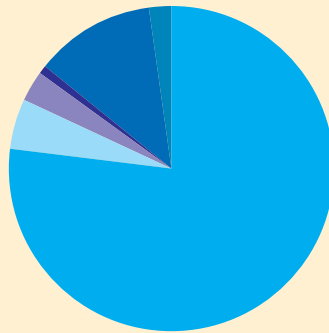
我々は、英国監査実施管理委員会発行のBulletin 1999/6、決算報告書の摘要に対する監査人の声明、及びNote 11慈善団体の監査に従って作業を実施した。慈善活動団体全決算書についての我々の報告は、それら決算書報告書に対する我々の監査意見に基づく。

見解

我々の見解では、決算報告書の摘要は、2008年3月31日に終了した会計年度の、全決算報告書と海洋管理協議会の役員会年次報告書に一致する。

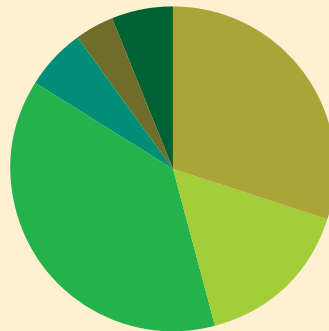
Deloitte & Touche LLP
Chartered Accountants and Registered Auditors
2 New Street Square
London
EX4A 3BZ
UK

2008年9月30日



資金の出所

寄付、助成金	77%
政府機関	5%
企業	3%
個人の寄付/その他	1%
慈善活動(ロゴ使用許諾活動)	12%
投資	2%



資金の用途

制度・基準管理	30%
教育と啓蒙活動	16%
商業、漁業への普及活動	38%
ロゴ使用許諾	6%
運営費	4%
資金調達活動	6%

2008年3月31日に終了した会計年度の金融活動の連結財務諸表（収支計算書を含む）

	無制限資金	被制限資金	資金量 2008年	資金量 2007年
	£	£	£	£
収入				
資金収入				
任意の資金収入	2,855,961	693,772	3,549,733	2,636,109
資金活動	10,556	0	10,556	5,473
投資収入	96,920	0	96,920	64,856
慈善活動による収入	489,989	23	490,012	224,090
総収入	3,453,426	693,795	4,147,221	2,930,528
資金支出				
資金調達費	221,791	0	221,791	187,828
慈善活動の支出	2,592,917	475,134	3,068,051	2,459,825
運営費	131,579	0	131,579	78,564
総支出	2,946,287	475,134	3,421,421	2,726,217
繰越前の純資金収入	507,139	218,661	725,800	204,311
繰越総額	11,275	(11,275)	0	0
純資金移動	518,414	207,386	725,800	204,311
2007年4月1日現在の資金	1,612,145	111,759	1,723,904	1,519,593
2008年3月31日現在の資金	2,130,559	319,145	2,449,704	1,723,904

決算報告書に含まれた差益、差損以外の損益は認められない。

すべての資金収入ならびに資金支出は、継続されている活動に由来するものである。

MSC役員会代行声明

すべて監査済みの勘定は2008年8月4日に承認され、役員会の年次報告と共に慈善団体委員会に提出された。監査人の見解では、監査結果は問題なしとの判定であった。これは法定会計ではなく、情報の概要に過ぎず、慈善団体の財務を完全に理解するためには情報が十分ではないこともあり得る。

2008年3月31日における連結、慈善事業貸借対照表

	グループ 2008 £	グループ 2007 £	チャリティ 2008 £	チャリティ 2007 £
固定資産				
無形固定資産	1	1	1	1
固定資産	139,961	111,550	79,617	101,968
投資	0	0	1	1
	139,962	111,551	79,619	101,970
投資	1,225,000	500,000	1,225,000	500,000
受取勘定	553,020	288,957	648,683	335,841
銀行預金と現金	1,576,045	1,509,353	1,077,562	907,865
	3,354,065	2,298,310	2,951,245	1,743,706
支払勘定				
1年以内の支払い予定額	(1,044,323)	(685,957)	(925,843)	(575,861)
純流動資産	2,309,742	1,612,353	2,025,402	1,167,845
資産合計引く負債総計	2,449,704	1,723,904	2,105,021	1,269,815
資金				
無制限資金 — 全般	2,130,559	1,612,145	1,828,990	1,228,045
被制限資金	319,145	111,759	276,031	41,770
総資金	2,499,704	1,723,904	2,105,021	1,269,815

この年次報告の情報は、2008年3月31日に終了した会計年度の全決算報告書に含まれる役員会報告を反映したものであり、全決算報告書は会社登記所から入手可能。

詳細については、全勘定とそれに関する監査報告、および役員会年次報告を参照されたい。それぞれのコピーは下記より無料で入手可能である。
Director of Finance, MSC, 6-20 Elizabeth Street, London, SW1W 9RB.
役員会代表
役員会会長 Will Martin
2008年8月12日



運営管理と参画



左から: Ms Margaret Wittenberg, Mr Javier Corcuera, Ms Annie Jarrett, Dr Keith Sainsbury, Mr Mike Parker, Mr Will Martin, Mr Alfred Schumm, Mr Kees Lankester, Mr John Connelly, Dr David Agnew, Dr Euan Dunn, Mr Jeff Davis.



会長メッセージ

様々な関係者との協力的なアプローチから生じる相乗効果がMSCの大きな強みです。2007/08年度の実績を見れば、協同することでより良くなる事が明らかです。共に取り組んでこそ良い結果が出せる、私たちはそう信じております。

MSCはしっかりとした運営体制のもと、水産業界や研究機関、保護団体、加工・流通業界、供給業者はもとより、最近では政府や国際機関といった多様な関係者との協力関係を大切にしながら活動しています。

利害関係の異なる関係者が協力関係を構築することは容易ではありません。しかし、お互いに交流し、意見に耳を傾け、議論をし、対応することによって得られる成果には計り知れないものがあります。この一年、MSCの運営組織や、認証漁業、バイヤー、政府そしてNGOが今まで以上に協力し合った結果、持続可能な漁業を支援し推奨するという共通の目標達成に向け、共に取り組んでいくことの意義を十二分に実感することができました。

関係者のことば

「ノルウェーの漁業管理には、自然との共生を重んじる伝統があり、持続可能な漁業管理においては世界でも先進的な国の1つです。これは自信をもって言えることです。MSC認証は、効果的なマーケティング手段であることを確信しており、ノルウェーの水産物がこれまで以上に市場での信頼を得ることができるものと期待しています」

Tove Sleipnes, MD of The Norwegian Seafood Export Council.

今年は2つの重要なプロジェクトが最終段階に入りました。1つは既定の審査ガイドラインと重点指標の作成、もう1つが異議申し立て手続の改善です。これらのプロジェクトの進展と成果に期待しています。

MSCは、持続可能な漁業を認証するための最高水準です。それを可能にしている献身的なMSCのスタッフ、顧客や協力者、関係者、資金援助者、MSC運営組織のすべてのメンバーに深く感謝申し上げます。

Will Martin
MSC役員会会長

優れた運営によって MSCを強化してくださる皆様に感謝いたします



役員会

Will Martin氏 会長

2005年4月に任命。アメリカのビジネスマン、弁護士。WWFアメリカのSenior Fellowでもある。クリントン政権にて、米国立海洋大気圏局 (NOAA) の国際政策担当官を務め、さらに国連食糧農業機関の水産委員会議長も務めた。

Keith Sainsbury博士 副会長

2005年4月に任命。Keith Sainsbury博士は、海洋資源と生態系の審査、生態学、利用、保全に関する研究を25年以上行っている。最近では、3年前に開始されたオーストラリアの海洋政策の一貫である海洋生態系の複合的利用計画と管理のための科学的基盤の開発・応用を行う研究チームを率いている。2001年から2007年5月まで、MSC技術諮問委員会の議長を務めた。

Mike Parker氏 財政委員会議長

2004年5月に任命。Mike Parkerはヨーロッパ最大の水産会社FoodVest Ltd. の副最高責任者である。その主要ブランドであるFindus and Young's Seafoodを通して、FoodVestは持続可能な漁業を水産物の供給源とすることに取り組んでおり、調達の中心にMSCを据えている。Mike Parkerは企業内の各部署にこの方針を徹底させた立役者である。

David Agnew博士 技術諮問委員会議長

2007年5月に任命。ロンドン大学インペリアルカレッジにて、漁業生物学および個体群生物学の准教授を務めている。海洋資源の保全と管理における豊富な経験を有する。専門は漁業審査、統計データ分析及びモデリングである。特に南洋、海洋生態系、世界の漁業管理、及びIUU漁業の取り締まりへの関心が高い。

Annie Jarrett氏 ステークホルダー協議会 共同議長

2006年6月に任命。オーストラリア水産業との関わりは25年に及ぶ。現在、北部エビ漁業管理諮問委員会の最高責任者であり、オーストラリア連邦漁業協会のメンバーである。また、漁業管理に関する助言を行うコンサルタント企業、Pro-Fish Pty Ltd. を経営している。

Margaret Wittenberg氏

2006年6月に任命。Whole Foods Market Inc. の品質基準及び広報担当Global Vice Presidentである。1981年より品質基準の設定、食の安全性、環境政策、行政対応、食と栄養および企業広報に関する指導をおこなっている。New Good Food, Essential Ingredients for Cooking and Eating Wellを含め、食と栄養に関する5冊の著書がある。MSCステークホルダー協議会メンバーでもある。

Kees Lankester氏

2003年1月に任命。Scomber Consultancyの創設役員として、漁業管理と海洋生物に関する助言を行っている。国際捕鯨委員会のオランダ代表団の首席科学アドバイザー、Netherlands Society for Nature and Environment の国際政策オフィサーを務めたこともある。現在は、アフリカを中心とした開発途上国の漁業に関わっている。漁業や海洋、環境保護に関する科学論文を数多く執筆している。

Euan Dunn博士

2007年5月に任命。ヨーロッパ最大の野生生物慈善団体であり、BirdLife Internationalの英国におけるパートナーである。英国王立鳥類保護協会が海洋政策の長を務めている。漁業と海洋生態系の相互関係に関し、国内外における幅広い方針策定と提唱活動の責任者である。漁業による海鳥の死亡を減らすために漁業者や政府機関、国際機関と共に活動しているBirdLife InternationalのGlobal Seabird Programmeを主導している。

Jeff Davis氏

2007年5月に任命。アメリカ最大の水産会社の1つであるAmerican Seafoodsの役員であり、米国水産業の業界団体である全米漁業協会の2007年度会長である。70年代初頭より水産業に携わり、後にBaader North American Corporationの社長兼CEOとなる。2000年にAmerican Seafoodsのパートナーとなり、2005年までAmerican Seafoods InternationalのCEOを務めた。

Javier Corcuera氏

2007年5月に任命。海洋生物学者で、Avina FoundationのCoasts and Water Programmeのラテンアメリカ代表を務める。1997年から2006年まで、Fundacio Vida Silvestre Argentina (FVSA) のDirector Generalを務め、WWFとの関係を強化するとともに、Argentine FSC National Initiativeを策定した。Javierの指導の下、FVSAはアルゼンチン初の国立海洋公園の創設に尽力した。2000年および2005年のThe Environmental State of Argentinaを共同執筆している。

John Connelly氏

2007年5月に任命。2003年より全米漁業協会 (NFI) の会長を務め、アメリカの漁業や水産業界の代表として幅広く活躍している。NFIには商業漁船オーナーから輸入業者、加工業者、流通業者、レストランやスーパーマーケットが加盟しており、アメリカの水産業界全体をカバーしている。近年では国際水産団体連合の議長を務め、2006年にはIntraFish Mediaの今年の人 (リゾン・オブ・ザ・イヤー) に選ばれている。

2008年3月31日以降、役員会に新たに二人のメンバーが加わりました。

Alfred Schumm氏

ステークホルダー協議会 共同議長

2008年4月に任命。

Mike Boots氏2008年8月に任命。

ステークホルダー協議会

Annie Jarrett氏 (オーストラリア) 共同議長
Pro-Fish Pty.

Alfred Schumm氏 (ドイツ) 共同議長
WWFドイツ

Mike Boots氏 (米国) Seafood Choices Alliance.

Luis Bourillón博士 (メキシコ) COBI.

Eyiwunmi Falaye教授 (ナイジェリア)

イバタン大学

Jim Gilmore氏 (米国)

At-sea Processors Association.

Patrice Guillotreaux博士 (フランス)

ナント大学

Eddie Heger氏 (オーストラリア)

海洋生態系政策アドバイザー

Jens Peter Klausen氏 (デンマーク)

JP Klausen & Co.

Otto Langer氏 (カナダ)

British Columbia Marine Conservation Council.

Gerry Leape氏 (米国)

National Environmental Trust.

Guy Leyland氏 (オーストラリア)

Western Australia Fishing Industry Council.

Esther Luiten 博士 (オランダ)

North Sea Foundation.

Hans-Jürgen Matern氏 (ドイツ)

METRO Group International.

Christine Penney氏 (カナダ)

Clearwater Seafoods 2007年7月に加入

Dierk Peters博士 (ドイツ) Unilever, WWFに出向

Peter Redmond氏 (米国) Wal-Mart.

Enir Reis博士 (ブラジル)

Universidade de Rio Grande.

Ussif Rashid Sumaila博士 (カナダ)

プリディッシュコロンビア大学

Per SwenSSon氏 (ノルウェー) Binor Products AS.

Margaret Wittenberg氏 (米国)

Whole Foods Market.

技術諮問委員会

David Agnew博士 (英国) 議長
インペリアルカレッジ。2006年11月に加入。

Lee Alverson博士 (米国)

Natural Resources Consultants Inc.

Jim Cannon 氏 (ベルギー)

Sustainable Fisheries Partnership.

Shelley Clarke博士 (香港と日本)

独立コンサルタント

Henrik Gislason氏 (デンマーク)

Danish Institute for Fisheries Research.

Martin Hall博士 (米国)

Inter-American Tropical Tuna Commission.

Howard Johnson氏 (米国)

HM Johnson & Associates.

Volker Kuntzsch氏 (ナミビア)

Hangana Seafood.

Mike Mitchell氏 (英国) Youngs Bluecrest.

Morten Jensen氏 (ノルウェー) Seafoods.

Christopher Zimmermann博士 (ドイツ)

Institut fuer Ostseefischerei (IOR).

Peter Dill博士 (ドイツ) Deutsche See.

Nancy Gitonga氏 (ケニア) Fisheries Department.

Herve Gomichon 氏 (フランス) Carrefour.

David Graham氏 (英国) Birds Eye Iglo Group Ltd.

Libby Woodhatch氏 (スコットランド) Seafood

Scotland.

Marc Nolting

Deutsche Gesellschaft für Technische

Zusammenarbeit GTZ.

John van Amerongen氏 (英国) Trident Seafoods.

Ricky Partelle氏 (オーストラリア) Coles Group

Limited.

Uwe Scholz博士 (フィリピン)

Morten Jensen氏 (ノルウェー) Seafoods.

今年ステークホルダー協議会を辞任した次の方々に感謝の意を表します。

Cathy Roheim 教授 (米国) 共同議長

ロードアイランド大学。2007年8月に辞任。

Daniel Bailey 氏 (南アフリカ) Batostar,

2007年6月辞任。

Isabel de la Torre氏 (米国) Industrial Shrimp

Action Network 2007年6月辞任。

Cliff Morrison氏 (英国) Young's Bluecrest

2008年3月辞任。

Carol Haest氏 (ベルギー) World Organic

Supermarketing Club 2008年3月辞任。

Brid Torradas 氏 (アイルランド) Eurotoque

International, 2007年に任期満了

Knut Vartdal 氏 (ノルウェー) Vartdal Seafood

2008年3月辞任

Burr Heneman氏 (米国)

Commonweal Ocean Policy 2007年辞任

Alastair Macfarlane氏 (ニュージーランド)

New Zealand Seafood Industry Council.

Rich Marasco 博士 (米国)

Alaska Fisheries Science Center (退職)

2007年8月に加入

Purwito Martosubroto博士 (インドネシア)

Bogor Agricultural University 2007年8月加入

Cliff Morrison氏 (英国)

Young's Seafood.

Keith Sainsbury博士 (オーストラリア)

Sainsolutions.

Matthew Wenban-Smith氏 (英国)

OneWorld Standards Ltd.

Chang Zhang博士 (韓国)

Pukyong National University.

常任オブザーバー

ステークホルダー協議会 共同議長

サプライチェーンにおけるパートナー

2007/08年度には、以下の企業がMSCのCoCトレーサビリティ・プログラムのもとに、MSCラベル水産物を扱っており、その小売総額は、前年度比約100パーセント増の10億ドル近くまで達しました。

MSCラベル製品

小売業者

360 (香港)
イオン(株) (日本)
ALDI Süd and Nord (オーストラリア、ドイツ、スロヴァキア、スイス、英国)
Asda (英国)
Bofrost (ドイツ)
Budgens (英国)
C1000 (オランダ)
Carrefour (フランス)
Casino (フランス)
Coop (デンマーク)
Coop (スウェーデン)
Coop (スイス)
Costco (米国)
Deen Supermarkten (オランダ)
Dekamarkt (オランダ)
Delhaize (ベルギー)
ED (フランス)
Edeka (ドイツ)
Frank's Smoke House (オランダ)
Globus (ドイツ)
Globus (スイス)
Hemköp (スウェーデン)
ICA (スウェーデン)
Iceland (英国)
Jan Linders (オランダ)
日本生活協同組合連合会 (日本)
Judge's Bakery (英国)
Kaufland (ドイツ)
Kroger (米国)
Lidl (オーストラリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、英国)
Marks & Spencer (アイルランド、英国)
Metro Cash & Carry (オーストラリア、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、ドイツ、ハンガリー、ルーマニア、ロシア、スロバキア)
Migros (スイス)

Monoprix (フランス)
Morrisons (英国)
Netto (ドイツ)
Pelican (Migros) (スイス)
Plus (ドイツ)
Real (ドイツ)
REWE (ドイツ)
Rock-a-Nore Fisheries (英国)
Safeway (米国)
Sainsbury's (英国)
Sam's Club (米国)
(株)西友 (日本)
Somersetfield (英国)
Spar (ドイツ)
Superunie (オランダ)
Takustore (米国)
Target (米国)
Tegut (ドイツ)
Tesco (英国)
The Fresh Market (米国)
U (フランス)
United Co-op (英国)
Visgilde fishmongers (オランダ)
Volg (スイス)
Waitrose (英国)
Wal-Mart (米国)
Whole Foods Market (カナダ、米国)
Willys (スウェーデン)
Woolworths (南アフリカ)

製造業者ブランド

Agrifrance (スイス)
Almare (オーストラリア)
American Tuna (米国)
Aqua (ドイツ)
Aqua cuisine (米国)
Aquamar (米国)
AquaStar (米国)
Bar Harbor (Looks Gourmet Food Company) (米国)
Bear and Wolf (米国)
Bi-Lo (米国)
Birds Eye (オーストラリア、アイルランド、英国)
Black Top (米国)
Bristol Bay (米国)
Bruce Gore (日本)
Captain's Classics (Highliner) (米国)
Chicken of the Sea (米国)
Cleanwater (アールゼンチン、米国)
Coleson's Catch
Coraya (スイス)
CT Océane (スイス)
Delikato (ドイツ)
Demings (Peter Pan Seafoods) (米国)
Double Q (Peter Pan Seafoods) (米国)
Duchy Selections (英国)
Ducktrap River Fish Farm (米国)
Dyhrberg (スイス)
Ecofish (米国)
Enghav (デンマーク、スウェーデン)
Femeg (ドイツ)
Findus (デンマーク、フランス、ノルウェー、スウェーデン)
Findus (スイス)
Fishery Products International (米国)
Fishes (オランダ)
Fresh Direct (米国)
Friedrichs (ドイツ、スイス)
Friesenkrone (ドイツ)
Frost & Frisch Convenience GmbH (ドイツ)
Frosta (ドイツ)
Frostkrone Engel Food GmbH (ドイツ)
Full Circle (米国)
Glacier Pesquera (アールゼンチン)
Gold Seal (米国)
Gooday (米国)
Hallieutis (フランス)
Hartley's (米国)
Hejpløeg Shellfish (英国)
Honey Boy (米国)
Hoogvliet (オランダ)
I&J (フランス、香港、イタリア、ナミビア、ポルトガル、南アフリカ、スペイン、スイス)
Iceland Seafood (ドイツ)
Icelandic USA (カナダ)
Iglo (オーストラリア、ベルギー、フランス、ドイツ、ギリシャ、ポルトガル)
Independent Fisheries (ニュージーランド)
Jac Den Dulk (オランダ)
John West (オーストラリア、ニュージーランド)
KB Finest (デンマーク)
Labeyrie (フランス)
Lachsräucherei Fuchs (ドイツ)
Laschinger (ドイツ)
Mare Seafood (ドイツ)
McCain (ベルギー)
Mövenpick (スイス)
Nadler (ドイツ)
Natural Sea (米国)
Nordic (オーストラリア、デンマーク、ドイツ)
Norm Thompson (米国)
Northern Chef (米国)
Odyssey (米国)

Organic Bistro (米国)
Ozean (オーストラリア)
Pickenpack (ドイツ)
Popp (ドイツ)
Portlock (米国)
Premium Selection (Lovering Foods) (英国)
Princes (オランダ)
Profish (オランダ)
Queens Ocean (オランダ)
Rahbek (デンマーク)
Royal Greenland (デンマーク、ドイツ、イタリア、スウェーデン)
Rügen Feinkost (ドイツ)
Salatkönig (ドイツ)
Salmon House (オーストラリア)
Sanford (ニュージーランド)
Savours Marines (Meralliance) (フランス)
Sea Choice (米国)
Sea Harvest (南アフリカ)
SeaBear (UAE, 米国)
Seafood Producers Cooperative (米国)
Sealord (オーストラリア、香港、ニュージーランド、英国)
Stührk (ドイツ)
Talley's (オーストラリア)
The Fishin' Company (米国)
Trans Ocean (米国)
Trident (米国)
Vita (米国)
Vital Choice Seafood (米国)
Wildcatch (米国)
Worldcatch (米国)
Youkon Wilder Lachs (オーストラリア、ドイツ)
Young's Seafood (マルタ、香港、英国)

外食産業

3663 (英国)
All-Fisch (ドイツ)
Brakes (英国)
British Seafood (英国)
Cardiff City Council (英国)
Concept Cool (オーストラリア)
Coventry City Council (英国)
Crown Foods (英国)
Deutsche See (ドイツ)
Enghav Foodservice (スウェーデン)
Feldt's (スウェーデン)
Findus Foodservices (スカンディナビア)
Five Star Fish (英国)
Fotouri (スイス)
Gourmet Menu Service GmbH (オーストラリア)

